事例No.	2161
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県豊岡市

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・ICT ・少子化・人口減少

事例種類	地域におけるデジタル人材の育成

事例内容・タイトル

働きたい女性のためのデジタルマーケティング人材の育成

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

181 働きたい女性のためのデジタルマーケティング人材の育成【兵庫県豊岡市】

事業の概要

○　女性がデジタルによって力をつけることを視野に、デジタルマーケティングのノウハウや技術について基礎から実践までを習得できるセミナー（５カ月）を週２～３回（３時間/回）のオンデマンド方式（好きな時間にインターネットで録画授業を視聴）を基本に、月２回の対面のスクーリング方式の両方で実施している（総授業時間約180時間）。
　希望者には週１回のオンラインの復習会も行っている。

○　さらに、地域の企業へのインターンシップをはじめ、キャリア支援、就労支援、起業支援等の出口戦略にも取り組んでいる。

○　併せて、地域企業におけるデジタル化の有用性などの理解を深めるための経営者向けの啓発にも力を入れている。

○　本事業は、地域のことをよく知るIT企業に事業を委託し、複数の女性講師が指導にあたっている。



【参考情報①】 人口：7.8万人
関連URL：
https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1007000/index.html
（ジェンダーギャップの解消）

【参考情報②】地域女性活躍推進交付金（内閣府）とは
URL：
https://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/kofukin/r04/hosei.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



主なジェンダーギャップに男女の収入格差がある。
この解消に向け、働きたい女性のキャリアや収入増などに向けた支援策のひとつとして、デジタルマーケティングのスキル装着による女性のデジタルエンパワーメントに取り組みたいと考えた。

（豊岡市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和３年度はデジタルマーケティング人材育成のトライアル事業として内閣府の地方創生推進交付金を活用し、令和４年度は本格的に事業に取り組むにあたり、内閣府の地域女性活躍推進交付金を活用している。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



市の事業で育成し、成長された女性デジタル人材が地域の次の女性デジタル人材を育成する立場になることで、持続性のある仕組みが構築されます。
女性デジタル人材の地域内の好循環を創り出すことはとても大切だと考えています。
令和3年度は６名が受講終了し、就職、起業、販路拡大による売り上げ増加などにつなげました。

★担当：豊岡市総務部 ジェンダーギャップ対策室★

令和3年度事業費　3,844千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　1,922千円）